

第66回阿佐谷七夕まつり、明日開幕！

## ふるさとを繋ぐ張りぼて

明日、8月3日から7日で、杉並の夏を代表するイベント「阿佐谷七夕まつり」が開催されます。ここ阿佐谷七夕まつりの大きな特徴は、店主などが手作りする張りぼてが飾られることです。今年は、その中に、エクレシア南伊豆の利用者などが、ふるさとを想いながら作った張りぼてが存在しています。

エクレシア南伊豆は、全国初の自治体間連携で整備された特別養護老人ホームです。区の交流自治体である静岡県南伊豆町に、平成30年3月に開設され、現在は61歳から96歳の40名（男15名、女25名）が入所しています。

200km離れた南伊豆町での暮らしの中においても、入所者が住み慣れた杉並との繋がりを感じられるよう配慮しています。面会する家族のために、施設内に無料宿泊室を設けたり、テレビ電話を導入したりしているほか、杉並に因んだイベントとして、高円寺の阿波おどりや区と友好提携している日本フィルハーモニー交響楽団を招いて楽しんでもらっています。

今回は、杉並を代表する祭りのひとつである阿佐谷七夕まつりを楽しんでもらうことにしました。阿佐谷七夕まつりは、全国に数ある七夕まつりの中でも、趣向を凝らした張りぼての展示が特徴的です。そこで、入所者や施設職員が南伊豆町のマスコットキャラクターである「いろう男爵」をモチーフに張りぼてを作成し展示することとなりました。



「いろう男爵」は、伊豆半島の最南端で海の安全の要となっている石廊崎灯台をイメージしたキャラクターです。張りぼては、角材と針金でベースを作り、その上に新聞紙などを貼って彩色していきます。今年6月から、南伊豆町の工務店の協力を得ながら、入所者と施設職員が作り上げてきました。

8月2日、阿佐谷七夕まつりの会場となる阿佐谷パールセンター商店街に、「いろう男爵」の張りぼてが飾られ、明日からの本番を待つだけとなりました。この「いろう男爵」の張りぼてのほか、保育園児が作った張りぼてなどは、阿佐谷でのまつりの終了後、大切に取り外され8月中旬からエクレシア南伊豆の施設内でも飾られることになっています。

【問い合わせ先】

保健福祉部高齢者施設整備担当 TEL 03-3312-2111 (内線) 1181